

# 日本最古の紙幣と最初の日本銀行券は何？

**日**本で最も古い紙幣は、安土桃山時代末期、1600年頃に伊勢山田地方（現在の三重県伊勢市）で流通し始めた「山田羽書」であると言われています。

**山**田羽書は、伊勢神宮の神官であった山田御師（祈祷奉賽を行う神官で商人も兼ねていました）によって秤量（ひょうりょう）銀貨の釣り銭の代わりに発行された、端数銀貨の預かり証（端書）でした。当時、銀貨は額面を持たず、重さを量って使う秤量貨幣だったので、端数を調整するために切遣い（必要な目方だけ切って使用）する習慣がありました。しかし、元和年間（1615～24年）に幕府が銀貨の切遣いを禁止したため、羽書は端数処理の簡便化に役立ちました。後に、一定の額面を持つようになり、伊勢神宮信仰にも支えられた山田羽書は、人々の非常に高い信用を得て、単なる預かり証から次第に人々の間で流通する紙幣としての役割を果たすよう

になりました。また、「山田羽書」の影響を受けて周辺地域でも有力商人による羽書の発行が見られるようになり、これらの私札は後の藩札の元になったと言われています。



山田羽書

**で**は、わが国で最初に発行された日本銀行券は何だったのでしょうか。

それは、1885年（明治18年）5月9日に発行された「旧十円券」です。この銀行券は銀貨兌換券で、券表面には「此券引かへに銀貨拾圓相渡可申候也」と記されています。



旧十円券

## コラム

### 世界で最初の銀行券は？

ちなみに、世界で最初の銀行券は、スウェーデンにおいて1661年に、重くて大きい銅板貨幣の代わりに、ストックホルム銀行が発行した信用券であると言われています。



ストックホルム銀行券（1666年）